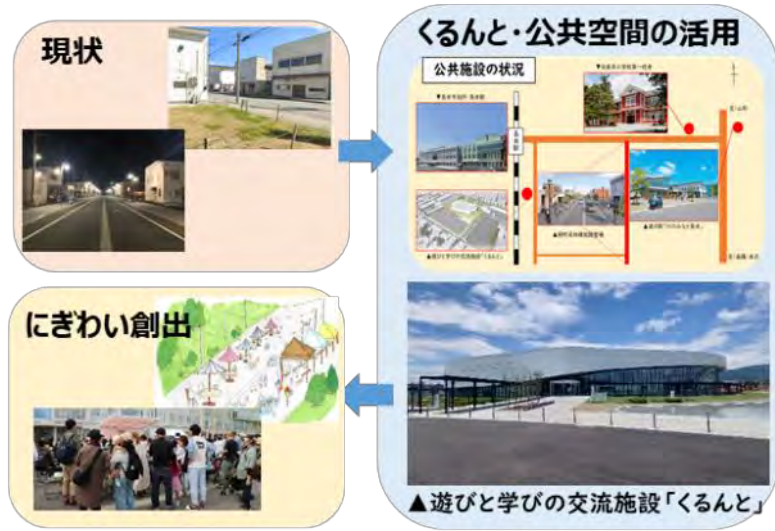


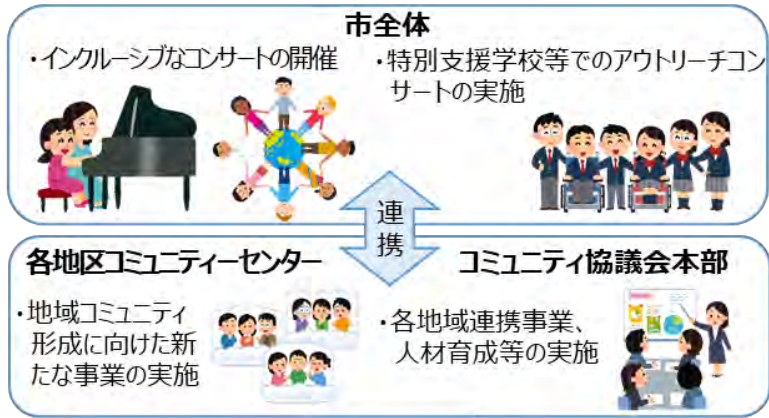
事業概要：「くるんと」を核としたまちなかにぎわい創出事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	607,828千円 (117,761千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「くるんと」の集客機能の最大化を目指し、施設の機能を活かした事業を展開することでまちなかのにぎわいの核となる拠点の形成を図る。 「くるんと」への集客を活かし、商店街やまちづくり団体を巻き込んだ官民連携でのイベントの開催等を行い、新たな魅力の創出や中心市街地の活性化を図り、空き地・空き店舗の解消やまちなかのにぎわいを取り戻す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地の商業機能低下やコロナ禍で失われたにぎわいの回復に向け、「くるんと」を核とした集客拠点を形成する。遊びと学びをテーマに、幼児向け屋内遊びや屋外運動イベント、AR体験、読み聞かせや語り部事業などを展開し、幅広い世代の利用を促進する。スポーツ交流や探究学習事業も実施し、来訪動機を創出する。さらに商店街等と連携しマルシェ開催や公共空間の活用により回遊性を高めるとともに、空き店舗活用を進め、持続的ににぎわい創出と地域経済活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・まちなかにぎわいの拠点となる「くるんと」で事業を展開し市内外からの誘客を図る。 (1) 遊びの事業に関する委託料：44,269千円 (2) 学びの事業に関する委託料：43,492千円 ・公共空間を活用したイベント実施に加えて、空き地・空き店舗を活用してまちなかのにぎわい創出を図る (1) まちなかにぎわい創出事業委託料：25,000千円 (2) 空き地・空き店舗活用事業委託料：5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①遊びと学びの交流施設「くるんと」利用者数（+300,000人） ②中心市街地における歩行者数（+1,372人） ③空き地・空き店舗解消数（+25件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：生涯活躍のまちづくりに向けた地域コミュニティ形成推進事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	183,050千円 (86,844千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域コミュニティ形成を促進し、誰もが居場所と役割を持つことができる生涯活躍のまちの実現を図る。 コンサート等を通じて市民へインクルージョンの考え方の浸透を図る。 新たな地域づくり計画に基づき、公民館時代の事業から脱却した新たな事業の展開を各コミュニティセンターで行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな地域づくり計画を踏まえ、地域振興分野、健康分野、防災・安心安全分野の事業を各コミュニティセンターにて実施し地域コミュニティの形成を図る。コミュニティ協議会本部では人材育成等を実施する。 また、障がい者や外国人等を招請しインクルーシブなコンサートの開催や、市内福祉施設や特別支援学校でのアウトリーチコンサートの実施することで市民へのインクルーシブな考え方を浸透させる。					 市全体 ・インクルーシブなコンサートの開催 ・特別支援学校等でのアウトリーチコンサートの実施 各地区コミュニティセンター ・地域コミュニティ形成に向けた新たな事業の実施 コミュニティ協議会本部 ・各地域連携事業、人材育成等の実施	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域コミュニティ形成に向けた事業 各コミュニティセンターにおける事業費：10,134千円 コミュニティ協議会本部事業費：11,272千円 ・コンサート等によるインクルーシブ推進事業 音楽コーディネーター人件費：5,100千円 コンサート等出演者への出演に係る経費：15,644千円 コンサート出演団体への出演手数料：5,850千円 コンサート等のPR及びプログラムに係る費用：4,100千円 コンサート等の舞台演出等に係る経費：30,690千円 コンサート開催時における委託費：1,400千円 コンサート等開催に係る消耗品費：1,654千円						
主なKPI	①UIターン数（+123人） ②1公演当たりのコンサート来場者数（+650人） ③コミュニティセンター事業参加者数（+18,474人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihouseisei/chihouseiseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：自動車教習所を活かした関係人口・移住者創出事業

継続

申請者	山形県長井市ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	197,520千円 (69,840千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	自動車教習所であるマツキドライビングスクールの合宿免許に首都圏から来訪している教習生を対象とした、本地域の企業見学や農業体験、観光スポットの周遊などにより魅力を感じてもらい体験型プログラムを実施する。 首都圏等へ戻った学生たちをターゲットとしたイベントを開催し、関係人口へとつなげ、移住支援施策の充実を図ることで農業や製造業等の担い手確保へとつなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自動車教習所の教習生に対し、本地域への就職や移住に興味を持ってもらえるよう地域の基幹産業である農業や製造業等、伝統文化などの現地での体験や見学、地域住民との交流を通して、本地域の魅力を感じてもらい事業を実施する。また、教習所を卒業後も本地域との関わりを持てるよう、再来訪などでの関係人口のきっかけとして首都圏でのイベントを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・体験型プログラム事業 体験型プログラムの構築、実施、アンケート調査等に係る委託費 15,000千円 地域内民間企業や農業団体、観光との調整に係る委託費 20,000千円 ・首都圏等におけるイベント開催事業 1市2町合同イベント開催委託費 15,000千円 各市町単独イベント開催委託費及び負担金 13,500千円 ・移住者受入促進事業 新規就農等による移住者への支援（補助金）6,340千円						
主なKPI	①転入者数（+99人） ②体験型プログラムの満足度（+80%） ③体験型プログラムへの参加者数（+4,550人） ④共同イベントへの来場者数（累計）（+11,000人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

※山形県長井市、白鷹町、飯豊町の広域連携事業

事業概要：「やまがたアルカディア観光局（地域連携DMO）」を核とした山形県を象徴する旅行コンテンツ造成事業

継続

申請者	山形県長井市ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	443,773千円 (150,770千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	欧米豪を中心としたインバウンドに選ばれる山形県を象徴する観光コンテンツ（地域の文化、風土を五感で体感し、人との関わりを感じるツアー）を造成し、それを国内準富裕層にも波及させる。 地域連携DMOとして、地域の観光資源の磨き上げを行い「稼ぐ力」を生み出すとともに、地域と旅行者との双方が喜びを感じる持続可能な地域を醸成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在、欧米豪向けの訪日外国人メディアであるジャパンガイドで紹介されている山形県の代表的な観光地は“銀山温泉”、“蔵王”、“山寺”、“出羽三山”、“かみのやま温泉”、“酒田”。本事業では、ここに並び、選ばれる観光ルートとしてアルカディア地域のモデルコースを形成し、知名度を上げ観光客に選ばれる目的地となることを目的として事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・インバウンド誘客に向けた受入れ態勢、商品造成販売事業 欧米豪を中心としたインバウンド誘客に向けたコンテンツの造成、磨き上げ、地域の受入態勢整備事業費：26,802千円 欧米豪向けプロモーション事業費：16,758千円 ・国内準富裕層向け高付加価値化商品造成事業 当地ならではの文化・風土を感じる体験を磨き上げる伝統文化等体験プログラム等造成事業費：16,178千円 国内向け営業・プロモーション事業費：8,076千円 ・組織の強みとなる自社商品販売拠点強化事業 DMOが運営する野川まなび館を拠点としたコンテンツ等販売造成事業費：15,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+ 250,080千円） ②DMOの旅行業等による売上額（+ 103,225千円） ③DMOの欧米豪に向けた商品造成数（+ 101件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

※山形県長井市、南陽市、小国町、白鷹町、飯豊町の広域連携事業

事業概要：「食」と「文化」を軸にした地域資源ブランディング事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	243,000千円 (81,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市の特色ある「食」や「文化」を地域資源と捉えてブランド化し、魅力的な体験コンテンツ造成、積極的なプロモーションを実施することでインバウンドも含めた更なる観光誘客を図る。 観光客増による観光業への波及はもちろん、地場産品の需要拡大による農業への波及を図る。タスパークホテル長井を中心に事業を進めることで地域経済の活性化を図りながら、本地域観光受入の拠点として育てていく。地域固有の「食」や「文化」の認知を広げシビックプライドを醸成し、次世代への継承、若者の定住につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の特色ある「食」や「文化」を地域資源と捉えてブランド化し、観光客増・地場産品の需要拡大による経済活性化、地域アイデンティティの確立とシビックプライドの醸成によるそれらの次世代への継承、若者の定住につながる取り組みをする。具体的には、食と文化を活かした観光コンテンツの造成及びイベント開催、地場産品の市内外へのPR事業と活用支援等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・食と文化の高付加価値化に係る経費 28,000千円 ・食と文化のイベント開催に係る経費 33,000千円 ・地場産品の需要拡大に係る経費 9,000千円 ・インバウンド拡大施策調査検討委託料 11,000千円						
主なKPI	①地域の観光消費額（+10.3億円） ②一人当たり観光消費額（+1,500円） ③イベントへの参加者数累計（累計）（+10,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：地方創生2.0推進のコミュニティ拠点構築事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	210,000千円 (70,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	長井市では旧町村単位で住民主体の地域づくりがコミュニティセンター(コミセン)を中心に進められてきたが、人口減少・高齢化進展下、サポートニーズが高まる中で住民活動は停滞、互助の担い手も不足。R4 水害時には避難受付・情報共有が課題となった。そこで本事業ではコミセンの運営団体の統合・法人化、マイナンバーカード連携受付アプリ等の基盤も活かし、発災時も想定して日常的にコミセンを通じてリアル/オンラインで市民・行政・地域内外の民間が繋がることで、暮らし良さ・愛着心や事業・施策の効率の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コミセンを官民連携・分野横断で市民生活を支える拠点として機能強化し、安心で持続可能な地域づくりを推進する。特に水害時の課題を踏まえ、受付アプリの普及や訓練により避難所運営の円滑化と情報共有の高度化を図る。併せて、健康・福祉・商業等の民間サービスとの連携により日常利用を促進し、利便性とWell-beingの向上を実現する。さらに、DX推進によりデータに基づく運営改善を進め、官民協働によるサービスの効率化と持続性を確保し、転出抑制と地域への愛着形成につなげる。					地方創生2.0推進のコミュニティ拠点機能構築事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・コミュニティ拠点における官民・分野横断連携の試行と展開戦略・体制構築（委託料）14,000千円 ・除雪、草刈等の市内外からの担い手確保の取組戦略・体制構築（委託料）6,000千円 ・各地区における避難所訓練、避難所体験等の実施（委託料）15,000千円 ・ドローン運用のための体制構築（委託料）5,000千円 ・避難所受付等に関する普及啓発（委託料）5,000千円 ・MNC連携受付アプリ運用・機能拡張（委託料）5,000千円 ・コミセンにおける官民・分野横断連携に向けたDXの試行と実装推進（委託料）20,000千円						
主なKPI	①世帯数（+96世帯） ②コミュニティセンター利用者数（+6,826人） ③受付アプリ登録者数（+4,800人） ④コミュニティセンター利用満足度（+80%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(効果検証) https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihouseisei/chihouseiseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：マラソンを中心とした生涯活躍のまち推進事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	345,715千円 (113,905千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	長井マラソン大会を子どもからお年寄り、障がい者も含めた幅広い市民の目標大会となるようにリニューアルする。 本市の重点施策である「スポーツによる健康づくりの推進」や「ダイバーシティ・インクルージョンの実現」の達成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 総合戦略に掲げる「スポーツによる健康づくりの推進」と「ダイバーシティ・インクルージョンの実現」に向けて、リニューアルする長井マラソン大会への参加が市民の目標となるよう事業を展開する。ただし、スポーツや運動が習慣化していない人や、活動参加の機会が制限される高齢者や障がい者が一足飛びに同大会への参加を目指すことは困難であるため、運動意欲や健康意識、身体機能に応じた企画やサポートを展開していく。実施にあたっては、健康、スポーツ、福祉、子育ての各分野が横断的に取り組む。					 マラソンを核としたスポーツ振興 マラソン大会の開催 スポーツ環境・イベントの充実 連携	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1. マラソンを核としたスポーツ振興事業 ・マラソン大会及びスポーツイベントの企画・開催：49,023千円 ・スポーツ環境の充実化：27,177千円 2. 生活習慣への気づきをとおした運動参加のきっかけづくり事業 ・講演・セミナー・運動教室・食育事業等の実施：34,705千円 ・健康アプリの運用：3,000千円					 きっかけづくり 幼児期からの食育推進 講演・セミナー・運動教室等の開催 健康アプリの提供	
主なKPI	①地域のUIターン数 (+95人) ②平均自立期間 (+0.9歳) ③長井マラソン大会参加者数 (+2,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

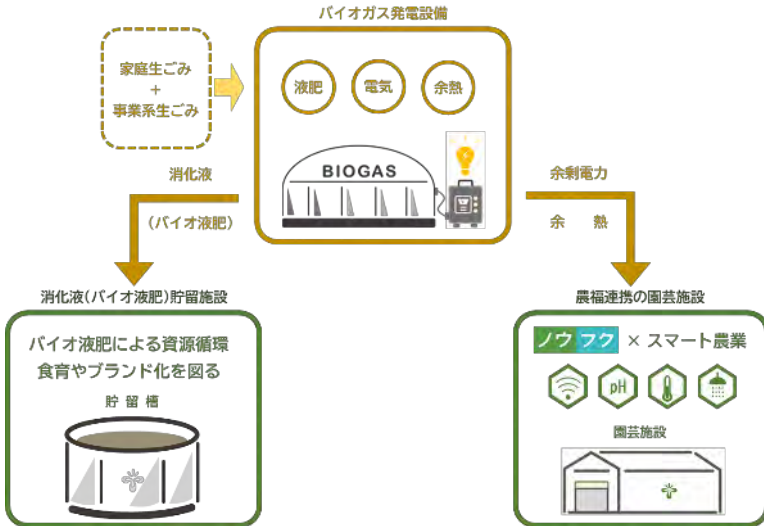
事業概要：未来につなげる文化財の掘り起こし及び普及事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,479千円 (7,493千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内に存在する文化財を調査、情報整理、情報発信を行うことで、市民の文化財への関心を高め、地域全体で地域独自の歴史と文化を守り、次世代に伝えていく体制をつくる。 市民が地域の歴史と文化を守る「まちの担い手」になり、市民を通して市の歴史と文化を知り・学べるまちを目指すことで社会減の抑制を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市に所在する文化財を将来へ継承するとともに、市民が主体的に関わる仕組みを構築するため、文化財管理と調査・情報発信の2事業を実施する。管理事業では、市民主体の保護団体を形成し、史跡の保全や巡回点検、研修等を通じて関心向上とシビックプライドの醸成を図る。併せて若年層への参加促進や教育コンテンツの充実により次世代への継承を進める。調査・普及事業では、未指定文化財等の現状把握や情報整理を行い、専門人材による調査成果をデジタルアーカイブで公開し誘客につなげるとともに、講話や報告会により広く普及啓発を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・文化財管理事業 市民団体の文化財環境整備に係る委託費：630千円 文化財の保護活動への支援（補助金）：400千円 ・文化財の調査および普及にかかる事業 調査・情報発信を行う「文化財コーディネーター」に係る経費（人件費）：6,263千円 成果報告会に係る経費：200千円						
主なKPI	①世帯数（+96世帯） ②文化財関連施設の利用者数（+3,266人） ③デジタルアーカイブへのアクセス数（+309,000件） ④デジタルアーカイブへ新たに掲載した作品数(+6,900件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：「ノウフク×スマート農業×食育」による循環型社会形成事業

継続

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	382,020千円 (288,520千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	平成9年から本市で行っている「레인보ープラン」の理念と精神を土台としたバイオガス発電設備（令和8年度完成予定）の導入に伴い、循環システムの効果最大化を図るため、液肥貯留槽の整備及び設備に隣接する農地への園芸施設を整備し、新しい循環型社会の形成による持続可能なまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 레인보ープランの理念のもと、バイオガス発電設備導入を契機に新たな資源循環とインクルーシブ社会の実現を図る。液肥活用のため600t以上の貯留槽を新設整備し、食育やコスト削減にも寄与する。併せて園芸施設を新設整備し、液肥や余剰エネルギーを活用したスマート農業を推進する。液肥の普及促進と農業者支援を進めるとともに、施設を福祉利用者の就労の場とし、ノウフク連携による人材循環を創出する。地域・民間との連携やDX活用により持続可能な循環モデルの確立と農業の高付加価値化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1. バイオ液肥の活用事業 ・液肥スタンドのリース料（賃借料）：1,000千円 ・液肥成分及び指導に係る経費（報償費、委託料等）：500千円 2. 園芸施設でのノウフク連携事業 ・農業用資機材に係る経費：15,000千円 ・土地の賃借料：500千円 ・農業指導に係る経費（報償費、旅費、手数料等）：13,000千円 ○拠点整備事業 ・貯留槽整備：119,900千円 ・園芸施設ハウス整備：135,870千円						
主なKPI	①新規就農者数（+15人） ②バイオ液肥の使用量（+1,000t／年） ③園芸施設で生産した農産物出荷額（+2,000千円） ④園芸施設で就業した福祉施設利用者数（累計）（+540人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：四季と文化を活かしたにぎわい創出と地域経済への波及促進事業

新規

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	427,616千円 (153,872千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光消費の拡大を目指し、本市の豊かな四季や文化に基づく「祭り」に関するイベント（イベント参加者数 R6:約23万人）の集客効果を引き上げる。獲得した集客効果をまちなかの商業機能へ誘導し、消費喚起へとつなげることで、地域経済の好循環の実現に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 官民連携の新たな推進体制のもと、祭りイベントのリブランディングによって魅力を高め、首都圏におけるプロモーションを行うことで集客の増加を図る。併せて、デジタル地域通貨「ながいコイン」の活用、市営バスの利便性向上、無人店舗「スマートストア」の機能強化によって、まちなかへの回遊性を向上し、地域内経済への波及効果を高める。					祭りイベントの魅力向上 首都圏でのPR強化 まちなかへの消費誘導 ⇒ 新たなにぎわい創出 + 地域経済の活性化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・祭りイベント魅力化事業 取り組みの企画・運営、会場施設の魅力化に係る経費99,000千円 ・首都圏におけるプロモーション・販路拡大事業 プロモーションイベント開催委託料 12,000千円 交流拡大コーディネーター委託料10,000千円 販路拡大コーディネーター委託料 3,000千円 ・地域内消費拡大事業 デジタル地域通貨システム使用料・事務局機能委託料9,280千円 バスロケーションシステム構築委託料・利用料15,500千円 スマートストアシステム利用料・運営委託料5,092千円					主な祭りイベント  さくらまつり  黒獅子まつり  あやめまつり  雪灯り回廊まつり	
主なKPI	①観光消費額（+2,080百万円） ②祭りイベントへの参加者数（+35,857人） ③デジタル地域通貨「ながいコイン」による決済額（+4,993千円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：未来につながる経済循環と安心形成推進事業

新規

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	297,615千円 (119,331千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、防災・防犯・見守り機能の強化と人流データの可視化を一体的に進め、中心市街地の来訪・回遊・消費を促進することで、商業機能の高度化と地域経済の循環を図るものである。生活リスクへの対応力向上により安心して暮らせる環境を整えつつ、持続可能な地場産業の発展を支える取組である。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、防災・防犯・子育て・高齢者見守りを重点に、市民生活の安心確保に取り組むとともに、観測データを活用した中心市街地の人流分析により回遊・消費を促進し、地域経済の活性化を図る。複数年にわたるデータ蓄積とデジタルツインの構築・活用により、効果検証と施策改善を進めるほか、防災カメラやセンサーの導入、情報公開や防災ツーリズムの展開を通じ、安心と経済が循環する持続可能なまちづくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・安心と地域経済が循環するまちづくり事業 経済戦略コーディネーター配置による人流及び各種情報の分析・活用促進に係る委託料 16,000千円 ・BIツールライセンス使用料 1,000千円 ・暮らしの安心を高める防災・防犯・見守り強化事業 防災・防犯・見守り強化に資するカメラ・センサー借上料 12,330千円 防災・防犯・見守り強化に資するシステム運用保守委託料 5,198千円 ・安全を守る市民のリテラシー向上事業 デジタルツイン利活用促進に係る委託料 79,500千円						
主なKPI	①現役世代（25～64歳）における転出超過数（減少数）（+45人） ②中心市街地の歩行者・自転車等通行量（+210人） ③収集される情報の利活用に係る講座・ワークショップ参加人数（+308人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihou-sousei/chihausouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要：多様な“学び”を通じた市内定着促進事業

新規

申請者	山形県長井市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	261,026千円 (83,709千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 旧長井小学校第一校舎やタスパークホテル長井といった既存資源を活用しながら、リスキリング、デジタル人材育成、キャリア教育などを体系化した“学びから就職・起業までをつなぐ人材育成・定着モデル”を新たに構築する。 ①市内出身の若者が市内で就職・起業する流れを強化すること、②市外の学生や社会人が学びや実践を通じて市内企業と接点を持ち、転入・就職につなげること、③人材確保に課題を抱える市内企業の競争力を高め、地域経済の活性化を図る、といった好循環を生み出し、社会増減の均衡および生産年齢人口の維持による地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市では生産年齢人口の減少に伴い、人材不足や後継者不足、技能継承の停滞が課題となっており、人材の育成・定着が急務である。そこで、若者・社会人を対象にリスキリングやデジタル人材育成、国際的視点を取り入れた学びと、市内企業と連携した実践型プログラムを提供する。旧長井小第一校舎やタスパークホテル長井を拠点に、多世代・多主体の交流を通じて技能継承と関係構築を促進し、就業や起業につなげる。さらに市外人材の流入やU・Iターンも促し、持続的な人材循環と地域経済基盤の強化に資する事業である。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●若者・社会人を対象とした「市内就職・雇用創出」に直結する学びの事業 ・リスキング事業（委託料）11,531千円 ・デジタル人材育成事業（委託料）10,000千円 ・ビジネスチャレンジコンテスト・企業マッチング事業（委託料）11,300千円 ・多世代間交流による人材循環促進事業（委託料）5,765千円 ●市内児童・生徒を対象とした「将来の地域産業の担い手」を育てる学び事業 ・学校と連携したキャリア教育事業（委託料）20,425千円 ・文化・スポーツを通じた国際感覚を養う交流事業（委託料）20,000千円 ・市外在住の本市ゆかり人材を活用した学びの事業（補助金）3,500千円					旧長井小学校第一校舎やタスパークホテル長井を拠点とした 多様な“学び”の事業の展開 ↓ 若者の市内企業への就職・起業などの市内定着により 生産年齢人口の維持・地域経済の活性化	
主なKPI	①転出者数（減少数）（+76人） ②市内工業高校の市内企業就職者の割合（+17%） ③各種事業への参加者数（+6,000人） ④キャリア教育事業への参加者数（+105人）					URL	https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/106/206/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：天童市立図書館リノベーション事業

継続

申請者	山形県天童市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,252,264千円 (717,334千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	市立図書館リノベーション事業により書架や閲覧席の増設、カフェや親子が触れ合えるちびっこプレイス、市民活動を支えるワークスペース、中高生の居場所やグループ学習で利用可能なわかもデッキなどを増築し、だれもが心地よく滞在できる居場所や人と人がつながる交流活動の中心として活用するとともに、中心市街地の賑わいを創出する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 図書館を中心市街地再生の核としてリノベーションし、生涯学習・情報発信・交流の拠点機能を強化する。蔵書・閲覧席の拡充やカフェ、ワークスペース、子育て支援・若者向け空間等を整備し、誰もが快適に滞在できる居場所を創出する。周辺公共施設や大学、地元産業と連携した講座・展示・イベントを展開し、学びと交流を促進することで来訪者増と賑わい創出を図り、中心市街地の活性化と移住・定住の促進、人口減少の緩和につなげる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 建築物整備 ・既存棟改修工事 144,483千円 ・西棟整備工事 108,953千円 ・東棟整備工事 335,749千円 ・外構工事 41,010千円 ・工事監理等 17,899千円 設備整備・用地造成等 ・実施設計等 18,430千円 ・駐車場整備 28,514千円 備品整備 22,296千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域人口（天童中部地区）の減少緩和数（+210人） ②施設の利用者数（+2,515,000人） ③施設で開催したイベント数（+85回） ④地区内の新築住宅棟数（+850棟）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/shisaku/sougoukeikaku.html#地方創生関連交付金

繼續

©(株)モンテディオフットボールパーク

事業概要： 若者から百歳まで全世代が活躍できる健幸まちづくり事業

旧制度（推進）

申請者	山形県南陽市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	106,114千円 (41,781千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	当市では、人口減少や高齢化が進展する中にあり、住民の交流促進と定住人口の増加を目指すため、ウォーカブルなまちづくりとインセンティブ健康プログラムを組み合わせた事業を実施する。 市民の健康増進、交流促進、まちの魅力向上を目指すとともに、社会保障費の支出の抑制を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・若者から高齢者まで市民1割2,500人を目標とした参加者の拡大に向けた関連事業の開催、ウォーカブルを鍵としたコミュニティ活性化施策の企画、市内企業の健康経営促進支援・事業への参画、市民活用促進・ヘルスリテラシー向上にむけた健幸アンバサダーの養成		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・コミュニティ活性化施策（スキーム構築・勉強会開催・コンテンツ制作等）3,850千円 情報発信にむけた基盤構築（健康プログラム提供に係るシステム費他）24,038千円 住民の情報発信力強化（健幸アンバサダーの養成等）2,420千円 事業評価（アンケート評価業務・社会保険料抑制効果分析）5,775千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲470人） ②健幸アンバサダーのボランティア活躍人数（+200人） ③インセンティブ健康施策の参加者数（+2,500人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） http://www.city.nanyo.yamagata.jp/nanyo_kenko_point/ （効果検証） http://www.city.nanyo.yamagata.jp/nanyo_kenko_point/

事業概要：「温泉×イタリア野菜」で実現するかほくアグリ・リトリート構想

新規

申請者	山形県河北町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	586,737千円 (235,439千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・事業者間連携により地域資源の付加価値を高め、交流滞在拠点であるひなの湯をハブとして町内周遊を促進し、滞在時間の延長とリピーターの確保を目指す。関係人口・二地域居住の創出を通じた新たなビジネス創出により地域経済の好循環を実現する。 ・農業と観光業の新結合によるイタリア野菜の付加価値の向上と販路開拓、担い手確保を通じ、地域産業の維持・発展を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 町内滞在時間が短く、通過型・立寄り型の観光形態であることから、企画調整人材主導のもと、事業者の連携により地域全体で地域資源の活用による新たな価値創造に取り組む。町内で最も集客力の高いひなの湯にリトリート空間を整備して町内外の交流や共創の促進、観光情報の発信、移動手段の確保により町内周遊を促進する。温泉熱を活用したイタリア野菜の体験農園を新設整備し、農業と観光業の新たな融合による通年型高付加価値コンテンツを提供する。あわせて環境負荷低減によるブランド化、安定生産による販路拡大を通じて「稼げる農業」を実現し、産業の維持・発展を目指す。加えて、「かほくアグリ・リトリート」のプロモーションにより首都圏・インバウンドからの誘客、多様な宿泊ニーズに対応した宿泊環境整備により関係人口・二地域居住を創出し、地域経済の活性化を図る。					 べに花温泉ひなの湯	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企画調整人材の確保（広告費）500千円 ・交通の確保に向けた実証運行（委託料等）2,394千円 ○拠点整備事業 ・ひなの湯大広間の設計 4,070千円 ・ひなの湯第3号源泉掘削工事 225,280千円 ・温泉を活用した体験農園施設の設計 3,195千円					 ひなの宿  かほくイタリア野菜	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+84,492千円） ②体験農業者数（+700人） ③ひなの湯大広間利用者数（+1,720人） ④町内宿泊者数（+2,355人） ⑤町営バス寒河江線（仮称）の利用者数（+1,150人） ⑥新規就農候補者研修生受け入れ件数、二地域居住者等による新規起業等件数（+7件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：

AI観光コンテンツ制作を通じた課題解決型人材の確保へ！交流人口拡大とコアな関係人口の整備事業

旧制度（推進）

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	129,360千円 (29,140千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・AI観光コンテンツ制作等を契機に、西川町に関わる複業人材のコミュニティをつくる ・複業人材の持つ多様なスキルを活用し、地域が抱える課題の解決を図る ・AI観光などによる交流人口と積極的に関わりを深め、関係人口の創出を図る ・交流人口、関係人口の拡大を推進し、西川町へ新しい人の流れをつくる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業によるデジタル観光の進展を契機に、町内全域のデジタル化の実現を進めていくとともに、複業人材と事業承継支援メニューについては、商工業事業者のみならず、町民の福祉向上など地域が抱える課題解決のための手段として最大化し、町独自の課題解決スタンダードをつくる。そのため、西川ファン創出推進協議会の自走に向けた動きを加速化し、連携・共創の体制を確立する。		観光客 AI観光等 複業人材等  交流人口 + 関係人口 人の流れをつくる
	【R8年度事業 経費内訳】 ●デジタル観光コンテンツによる地域活性化 ・既存コンテンツの運用と新規コンテンツの整備 (委託料・負担金) 23,540千円 ●複業人材活用と事業承継支援メニューの連携・融合 ・複業人材活用促進事業及び事業承継支援事業 (委託料・負担金) 5,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①関係人口・課題解決型人材登録者数 (+185人) ②移住者数 (+90人) ③観光入込数 (+8,500人) ④新たな商品・サービスの開発、経営改善 (+26件)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 令和8年7月公表予定

事業概要：新しい観光コンテンツ創出によるサステナブルツーリズム事業

旧制度（推進）

申請者	山形県西川町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,063千円 (60,843千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地方への人の流れ分野
目的・効果	○交流人口拡大に向け、戦略を明確にして地域資源を活かした魅力的で持続可能なツーリズムの展開を図る。 ・デジタル活用（メタバースの構築運用、オンライン会の開催等）による新たなファン層を獲得する。 ・自然と山の恵みを活かした西川町らしい持続可能な観光コンテンツ（ONガス、サウナ等）を充実する。 ・オール西川での受入体制（町民ボランティア育成、デジタルサイネージ拡充等）を整備する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 西川サステナブルツーリズム協議会において、3年目までのデジタル活用などによるファン層獲得・維持の事業展開の総点検を実施し、最終年度に向けた検討を重ね、拡充を進めるイン・アウトバウンドや二次交通などの環境整備やガイド育成により、町内での雇用創出や経済効果への貢献度などについても分析し、その結果を踏まえてステップアップを図っていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 (1) デジタル活用などによるファン層獲得 13,540千円 (2) 持続可能な観光コンテンツ充実 32,820千円 (3) オール西川での受入体制整備 13,737千円 ○ハード事業 (4) オール西川での受入体制整備 1,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①国内外のコアなファン層数（+1,000人） ②町内観光ボランティア数（+100人） ③持続可能なコンテンツ創出数（+10件） ④メタバースを活用したオンライン会参加者数（+400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要： 交流・関係人口拡大からの移住・移転の推進事業

旧制度（推進）

～子育て世代に移住先として選ばれる地域を目指して全力伴走!!～

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	384,922千円 (51,966千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・首都圏へアンテナショップの設置、また物販交流事業により交流及び関係人口の拡大を図る。 ・異地域留学を受け入れ子育て目線からの関係人口拡大を図る。 ・キャンピングカー等での移住体験や移住コンシェルジュにより移住の促進を図る。 ・英語教育や台湾との国際交流、地域資源を活用した学習等の特色ある学校づくりに注力し選ばれる地域を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 観光を入口に交流人口を広げ、首都圏でのアンテナショップ設置や協力者との連携を通じて関係人口を創出する。さらに、親子の移住体験や異地域留学、地域課題解決型の交流事業を進め、暮らし体験住宅や空き家活用、移住後の伴走支援等により若者・子育て世帯の移住と定住を促進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○首都圏からの人の流れづくり：関係人口創出拠点（R6に本事業で整備）を活用した情報発信・物販交流事業（委託料） 5,794千円 ○子ども目線からの契機づくり：異地域留学の受入れ（保・小）（委託料）7,176千円 ○選ばれる地域へ！定住後の支援体制構築：地域資源を活用した探求学習等特色ある学校づくり（委託料）18,118千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による移住体験者数（+130人） ②関係人口者数（+115人） ③生産年齢人口の減少抑制数（+89人） ④移住者数（+90人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL 令和8年7月公表予定

事業概要：共に前へ！まちの強みとデジタルを融合させた選ばれる産業地域の構築に挑戦

旧制度（推進）

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,121千円 (37,551千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材の確保を図る ・地域で始めたい、学びたい、手がけたいなど、西川町でチャレンジできる環境づくりを整備する ・地域が抱える課題解決を図るため、都市圏の企業ノウハウや高度スキル人材とのマッチング機会を創出する ・町内事業者のデジタル化及びDXを推進し、経営のパワーアップを後押しする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 「官民連携型の地域経済応援プラットフォーム」を構築し、「持続可能な経済循環サイクル」の形成と「地域産業の好循環」を目指すものである。「人材の掘り起こし」「人材育成」「外部人材等とのマッチング支援」により担い手の確保を図るとともに、「町内事業者のDX推進」や「デジタル技術を活用した…パワーアップ支援」を通じて、新たなビジネス創出や競争力強化を進め、地域経済の活性化と持続的発展につなげる。	地域産業応援プラットフォーム (にしかわ創生経済会議) イノベーションの創出 ＋ 地域産業の 高付加価値化 ↓ 持続可能な 産業地域づくりを 実現する	
	【R8年度事業 経費内訳】 Ⅰ.人材確保・人材育成及びマッチング支援に関する事業 (1) 次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材育成 ①就業起業創業向けセミナー開催（需用費、委託料、負担金）1,600千円 ②創業起業スタートアップへの支援等（需用費、役務費、委託料、負担金）7,800千円 (2) 人材育成に要する経費 9,500千円 ①起業・創業人材育成研修会等の企画及び開（需用費、使用料、委託料、負担金）8,580千円 (3) 外部人材等とのマッチングに要する経費 2,100千円 ①複業兼業に関心のある都市圏の企業及び人材と地元企業とのマッチング等の底辺拡大に向けた支援（需用費、役務費、委託料、負担金）2,100千円 Ⅱ.町内事業者のDX等のチャレンジ支援に関する事業 (1) 町内事業者のDX化推進の機運醸成等に要する経費 ①イノベーション・ハブ（共創拠点）施設を活用したスキルアップや地域ネットワーク構築の企画及び開催9,471千円 (2) デジタル技術を活用した町内事業者等のパワーアップ支援に要する経費 ①町内事業者のデジタル化やDXに向けた取組みへの支援（需用費、委託料、負担金）8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における起業者数（＋25人） ②本事業による育成人材数（＋50人） ③本事業における成約件数（＋5件） ④企業や人材とのマッチングの数（＋35件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：3町の強み（自然・花・リモート環境）を活かしたワーケーション推進事業

継続

申請者	山形県西川町ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	834,827千円 (278,973千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 3 町が連携し、観光地やコワーキング拠点など受入環境の高付加価値化・機能向上を目指す。 ・ 地域資源を活用した周遊型の観光体験プログラム・起業ワーケーションツアー提供により、消費額の増加を図る。 ・ テレワーカーとの交流や地域の魅力把握により、町民の観光に関わる受入心や起業マインドを醸成する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 中間年の事業として、3 町のワーケーション推進協議会において、マーケティング調査結果を反映し、初年度のツアーやプロモーションの実施内容を分析して、その結果や状況等を踏まえた関係人口や企業などの来訪拡充への受入環境整備の見直しを含む連携体制の強化を図る。合わせて、町民のテレワーカーなどの受入れに対する意識のステップアップに取り組んでいく。					山形県の真ん中で 3 町が手を結ぶ！ 西川町 大石田町 川西町 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ ツアー・ワーケーション受入環境整備 125,724千円 ・ サステナブル旅行企画 17,100千円 ・ 起業マインド醸成事業・調査広報事業 61,366千円 ・ 観光地の高付加価値化向上 68,383千円 ・ コワーキング拠点の機能向上 6,000千円 ・ 駅からの 2 次交通支援・自転車等の整備 400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額 （+6,135百万円） ② サスティナブル観光商品造成数（単独実施分） （+ 20商品） ③ サスティナブル観光商品造成数（連携実施分） （+ 5商品） ④ ワーケーション・テレワーカー数 （+ 1,200人） ⑤ テレワーカーと住民の交流事業数 （+ 36事業） ⑥ 調査事業を受けて改善したツアー商品数 （+ 5商品）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 8 年 7 月公表予定

※山形県西川町、大石田町、川西町の広域連携事業

事業概要：「道の駅」を核としたローカルビジネス構築事業

継続

申請者	山形県西川町					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	393,690千円 (88,073千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	「道の駅の機能の発揮」×「山の恵みの価値の実現」によりイノベーションを起こし、道の駅を核としたローカルビジネスを構築する。これにより、交流人口・関係人口の拡大はもとより、地場産業における雇用創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 道の駅を核に、新たな交流・関係人口が集う新たな賑わいの創出、かつ地ビール醸造体制の強化により稼ぐ力を創出するため、既存地ビール醸造・体験施設の模様替え及び芝生広場を整備する。併せて、道の駅の機能強化や交流人口拡大に向けた仕掛け、地場産品の付加価値向上等のソフト事業も実施し、ソフト＋ハードで相乗効果を発揮する事業とする。						
	【R8年度事業経費】 ○ソフト事業 ・ネイチャーポジティブによる成長に関する事業 ネイチャー ポジティブツアーの企画・実施（委託料） 8,000千円 ・生物多様性の調査に関する事業 森林資源や河川資源、生物多様性の調査・保全（委託料） 8,500千円 ・地場産品の認知度向上に関する事業 名水サミット開催による地場産品の認知度向上（委託料） 8,492千円 ○拠点整備事業 ・既存施設の模様替え 撤去、内装工事から設備更新 57,081千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（＋1,001,095,420円） ②「道の駅」年間来訪者数（＋256,833人） ③地ビール等の年間出荷額（＋6,150万円） ④冷やし温泉館利用者数（＋48,268人） ⑤体験企画の参加者数（＋1,025人） ⑥「山の恵み」新ブランド件数（＋180件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 8 年 7 月公表予定

事業概要：月山カヌービレッジ構想推進事業

新規

申請者	山形県西川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	165,631千円 (65,037千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・世界水準のカヌー拠点と地域資源を結んだプラットフォームにより、地盤産業の価値向上と持続的な稼げる地域経済を実現する。 ・滞在型観光や国際大会誘致、地場産品のブランド化で販路と外部人材・関係人口の協働を創出し、伝統産業の成長につなげる。 ・海外需要を見据えた戦略（マーケティング）と民間活力の導入により、外貨獲得と地域全体の経済循環の強化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 河川空間オープン化を契機に、月山湖エリア全体の指針策定と各種アクティビティの実装を進め、通過型から滞在型への転換を図る。また、国際基準のカヌーセンターを核に、コワーキングやカフェを備えた多機能拠点を活用し、地場産品のブランド化や観光需要の取り込みによる地域産業への波及効果を高める。さらに、国際大会誘致や競技環境の高度化とあわせ、産業を支える人材育成と共助の仕組みを整備し、地域経済の持続的な成長と外貨獲得を実現する体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域資源を活かした拠点エリアの観光整備（委託料等）16,336千円 ・地場産業の付加価値向上と販路拡大（委託料等）3,404千円 ・国際基準の競技環境の確立と「外貨」の獲得（負担金等）8,574千円 ※国際基準対応・競技インフラの高度化（委託料等）30,238千円 ・次世代の担い手育成と「共助」の社会実装（委託料等）2,985千円 ※地場産業を支える人材養成の質向上・強化（工事請負費）3,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額の増加(推計)（+730百万円） ②カヌーセンターにおける地場産品（食・材）の売上額（+280万円） ③大会・合宿誘致に伴う延べ宿泊者数（+1,540人泊） ④エリア拠点施設の年間延べ利用者数（+35,000人） ⑤地場産業維持に資する「共助」マッチング件数（+9件） ⑥民間主催アクティビティ・イベント数（+7事業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：観光交流拠点施設「朝日自然観コテージ村」再整備による
高付加価値化の創出と持続可能な滞在型観光推進事業

旧制度（拠点）

申請者	山形県朝日町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	820,386千円 (248,787千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	朝日自然観コテージ村を観光交流の拠点施設と位置づけ、多様化する観光ニーズへの対応と持続が可能な魅力ある施設に再整備し機能を強化していく。コテージ村エリア全体の高付加価値化と利便性の向上を図るとともに、町有観光交流3施設の連携をもとに町全体の活性化と交流人口の増加に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 朝日自然観敷地内及びその周辺において、食や自然を活かしたソフトプログラムを実施し、自然を満喫できる施設としてブランドイメージを構築し観光客の利用促進を図る		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 コテージSタイプ2棟模様替え工事 41,425千円 洗場棟、サニタリーハウス模様替え工事 43,283千円 コテージAタイプ3棟新築工事 121,600千円 ・効果促進事業（ハード事業） 外構インフラ工事（第2工区） 22,300千円 Wi-Fi等通信機器整備 12,179千円 既存コテージ解体工事4棟 8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+71,000千円） ②観光交流3施設利用者数（+65,000人） ③朝日自然観コテージの稼働率（+16.0%） ④観光協会が実施するツアーの数（+9回）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html

事業概要：「新宅今井家」を活用した来訪者及びインバウンド推進

継続

申請者	山形県朝日町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,486千円 (200千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	古民家「新宅今井家」を活用し、インバウンドや交流人口の拡大を目指しているが、機能面の課題もあり、頭打ちとなっている。母屋や蔵、広場を改修し、マルシェ会場の機能アップや古民家を活用したおもてなしを行うことで、来訪者やインバウンド（訪日外国人旅行者）の誘客に取り組む。本施設を活用し、交流人口を増やし、周遊観光のにぎわいを起こしていくことで、地域全体の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 （1）おもてなしによるインバウンド誘客・交流人口の拡大 ・母屋や蔵を改修することで、日本の伝統文化を感じられる環境を整備する。来訪者や旅行者へ普段体験できない満足感のある体験を提供し、口コミの広がりやリピーターの獲得につなげる。 （2）マルシェ会場の環境整備で誘客アップ ・マルシェのスペースを整備することで、車の乗り入れ可能になるなど、出店者の幅が広がりさらなる誘客が期待できる。 （3）情報発信・他の事業者との連携強化 ・地域おこし協力隊の協力を得ながらSNSを最大限活用し情報発信の強化を図り、誘客につなげる。地元事業者との事業連携を図ることで、Win-Winな関係性を構築し、より効果的な情報発信に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・SNSを通じた動画配信に関する事業 200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+99,000千円） ②観光交流3施設利用者数（+119,400人） ③新宅今井家(母屋、蔵)の来訪者数（+450人） ④新宅今井家(広場)を活用したイベント参加者数（+400人） ⑤インバウンド推進員が実施するツアーの数（+5回） ⑥マルシェ1回あたりの出店者数（+6者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年9月公表予定 https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikinogoannai/seisakusuishinka/sogoseisakukakari/3/2/1563.html

事業概要：金山町シティブロモーション推進事業

新規

申請者	山形県金山町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	115,588千円 (36,070千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源を再編集し、神室エリアの民間運営化や高速道路開通を契機に、町の魅力を戦略的に発信することでブランド価値の向上を図る。 ・町民と事業者が地域の魅力を共有し、誇りと受け皿機能を高めることで、交流人口・関係人口の拡大につなげる。 ・都市部や海外への効果的なPRや交流事業を通じて新たな来訪者を呼び込み、観光消費の循環と地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 令和9年度に東北中央自動車道開通が予定され、令和8年度から観光拠点であるグリーンバレー神室一帯の運営体制も一新することに伴い、町の観光交流事業について、専門的知見を取り入れながら、町の商業活性化に寄与するシティプロモーションについて、既存事業の費用対効果等の分析や新たな構想を組み立て、町民や関係団体、関連する企業と共に金山町が選ばれる存在になり、地域経済が循環するシステムを構築する。					 ▲町の代表的な観光資源である美しい街並み	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・シティプロモーション広報戦略策定事業 -戦略策定用アンケート及びWS開催等（委託料）24,627千円 ・町の魅力PR発信事業 -PR用動画制作費（委託料）3,443千円 -SNS、メディアを活用した情報発信（広告料）3,000千円 -Tシャツ等PRグッズデザイン委託料 1,000千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口・関係人口数（+23,600人） ②Instagramフォロワー数（+3,150人） ③PR動画再生回数（+150,000回） ④PR関連イベント参加者数（+1,200人） ⑤グリーンバレー一帯集客数（+22,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要： 転入若者と地域住民との相互交流の活性化による若者の移住定住促進事業

継続

申請者	山形県舟形町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	84,000千円 (42,000千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	令和6年4月に高度な農業経営者育成を目指す山形県立東北農林専門職大学が新庄市に開学した。本事業は大学生が本町に誘致する民間アパートに居住し、交流施設等における地域住民等との交流活動を通じながら第2次人口対策(卒業後の町内就職)、第3次人口対策(結婚・住宅取得)につなげていく、総合的なプロジェクト事業である。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 【学生向け民間アパート整備補助金】 ○施設名称:山形県立東北農林専門職大学生向け民間アパート ○誘致計画:令和7年度は第3期生向け第3号棟、 令和8年度は第4期生向け第4号棟を誘致 ○棟数戸数:1棟10戸 ○事業者:株式会社クリエイト礼文(公募型コンペにより決定済) ○町と連携:町は本交付金を活用し建設に対する補助金交付の形で支援を行う。42,000千円					 学生向けアパート(イメージ写真:1号棟) 第1号棟、第2号棟ともに満室となり、大学側からの要望も受け、民間事業者と連携しながら、第3期生、第4期生の入学に合わせて、第3号棟、第4号棟を誘致していく。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・民間アパート新築(第4号棟)建設費 92,000千円 (うち町建設補助金42,000千円、うち民間事業者負担額50,000千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+100人) ②町内で1ヵ月以上アルバイトをした学生数 (+15人) ③町内会主催の地域活動への参加学生数 (+25人) ④交流施設における交流者数 (+660人) ⑤学生による年間SNS発信数 (+29回) ⑥町内イベントへの年間スタッフ参加学生数 (+10人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.funagata.yamagata.jp/s007/sugata/040/010/20240914094254.html (効果検証) https://www.town.funagata.yamagata.jp/s007/sugata/040/010/20240913163630.html

事業概要：小さな村の大きな拠点づくり事業

継続

申請者	山形県大蔵村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,336,860千円 (984,338千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・様々な行政サービスを受ける住民が、気軽かつ意欲的にあつまる交流拠点スペースを造設し、次世代に向けた交流エリアを集約する。 ・若者から高齢者までが、活発で意欲的なコミュニティエリアとなり、それら利用率の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 新築整備される拠点施設「くらっせ（仮称）」は、村内の住民が活発に交流し、日常的な活動を行うための拠点施設です。理念は「出会いと再会」「コミュニケーション」「新しい繋がりづくり」で、子育てや介護、障害を持つ住民の交流を促進します。 施設の主な特徴 ・ひだまりラウンジ：メインスペースで、交流やイベントに利用 ・学習室：静かな学習環境を提供し、コミュニティの交流を深める場所 ・のきた広場：屋外イベントに活用され、地域資源の理解を促進 ・スポーツ室：体育館として、多目的に利用可能 ・屋上展望テラス：自然を眺望できる安らぎのスペース これらの施設は、地域住民の出会いや交流を増やし、持続可能なコミュニティを形成することを目指しています。また、施設の一体化により維持経費の縮減も期待されます。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・【建築物本体工事】 923,052千円 ・【備品整備】 61,286千円 合計984,338千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域人口増減数（+30人） ②施設年間利用者数（+81,000人） ③住民利用者満足度の増加（+560%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：SNS発信及び周遊等の強化による地域活性化事業

継続

申請者	山形県鮭川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,850千円 (8,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	鮭川村は、豊かな自然環境と独自の文化を持つ地域であり、特に「サッキー」というゆるキャラは、村の観光資源をとおして重要な役割を果たしています。近年、観光客数が減少傾向にある中で、デジタル技術を活用した情報発信や地域資源の魅力を高める取り組みが求められています。これにより、村の興味人口や関係人口を増やし、地域経済の活性化やふるさと納税の増額などを図ります。また、村内における周遊に向けた取り組みを実施することで、地域経済の活性化を図ります。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 鮭川村のゆるキャラである「サッキー」のデジタル化と着ぐるみによるオンライン・オフライン両輪で鮭川村のPRを行うことで村の興味人口や関係人口の創出に取り組む。また、地域でのイベントなどを実施することで、さらなる関係人口や興味人口の創出と地域経済の活性化を図る。					 1.0 イラスト 印刷物など 2.0 キグルミ イベント・アトラクション 3.0 デジタルアバター SNS・動画・AR・自律会話bot	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・サッキーSNS配信・着ぐるみ制作（補助金）3,000千円 ・周遊に向けた研修会事業（補助金）500千円 ・地域のにぎわいづくり事業（補助金）1,600千円 ・企業等交流・興味人口創出促進事業（補助金）1,000千円 ・小杉の大杉観光看板設置（委託）2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊観光客数（+2,400人） ②観光入込客（+250百人） ③新たに開発した観光資源数（+8件／5年間） ④SNSフォロワー数（+2,200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

申請者	山形県高畠町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	206,000千円 (81,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・高畠夢サミットの開催と夢サミットプラットフォームの設立（取組①） ・地域課題の解決を図る起業・創業の実現と経営人材の育成（取組②） ・高畠高校の教育の魅力化と産業、町民、高畠ファンとの連携（取組③） ・官民連携の子育てネットワークの環境整備と社会全体で子育てを応援する機運の醸成（取組④）		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 高畠夢サミットプラットフォーム（中間支援組織）の設立により、人材育成事業を軸に域内のステークホルダーと将来ビジョンや社会的インパクトの共有を図り、地域課題に対しチャレンジし続ける人財の育成とエコシステムを醸成していく。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・高畠夢サミットプラットフォーム構築事業（取組①） 委託料等：33,000千円 ・経営人材・起業家の育成支援（取組②） 委託料：15,000千円 地域課題解決型ビジネス、社会実験に対する補助金：20,000千円 ・中高生が地域とつながる学びの場の創出（取組③） 1万人プロジェクトの実施 委託料、謝金：6,000千円 ・まちまるごと子育て推進事業（取組④） 子育てママの支援や食育事業の実施 委託料、人件費等：7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①事業実施期間中の地域の人口減の緩和（+80人） ②課題解決型起業創業新規プロジェクト数（+13件） ③夢サミット参加者数（+200人） ④中高生による学びのヒアリング実施件数（+1万件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 町HP： https://www.town.takahata.yamagata.jp/soshiki/2/1497.html 特設サイト： https://x.gd/PQeY1

事業概要：多様な主体の参画による二拠点居住の魅力創出事業

継続

申請者	山形県高畠町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	20,100千円 (5,940千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・今後のまちづくりの中核を担うことのできる都市圏在住の20歳～40歳台をメインターゲットとし、地方でも多様な働き方があることを知り、「自分らしく」暮らすことのできる生活イメージを具体化することを可能となる二拠点居住事業を実施し、当町が若い世代に選ばれる地方の代表となることが当該事業の目的である。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 デュアルスクール※1の受入れや首都圏大学の本町でのフィールドワーク受入れ等を通じて、二拠点居住者の増加につなげていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●町内外における二拠点居住事業協力事業者の拡大に向けた実証経費（委託料 4,500千円） ・町内事業者との新規連携による事業実施体制の構築経費（人件費、消耗品費等） ・幼稚園や小学校、中学校等への体験入学制度の確立と事業実施経費（子育て世帯向けワーケーション等に参加しているリモートワーカー等への周知経費（人件費）） ・二拠点居住を検討する家族の副業チャレンジ希望について、具体的な情報を得るための調査、及び事業実施経費（人件費、印刷製本費、消耗品費等） ●行政が「ハブ」となり、町民・民間企業・大学機関が活躍できる場の創出における実証経費（委託料 1,440千円） ・町内NPO法人等との新規連携による大学生・大学院生との連携事業経費（県外におけるプロモーション経費（人件費、印刷製本費、消耗品費等）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のU I J ターン数（+20人） ②町内民間事業者や地域住民が主体となり、新たに開始された関係人口創出・二拠点居住事業による来町者（+65人） ③二拠点居住事業における連携大学数（+10大学） ④二拠点居住事業における連携民間企業数（+15社） ⑤二拠点居住事業で来町した人のうち、移住コーディネーターや民間事業者がサポートした人の数（+25人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：関わりから仕事へつなぐ「たかはた人材循環・共創プロジェクト」

新規

申請者	山形県高畠町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,780千円 (31,760千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	高畠町では、人口減少と少子高齢化の進行により、生産年齢人口の減少や地域産業の担い手不足が深刻化している。これまで二拠点居住やデュアルスクール等により関係人口の創出を進めてきたが、地域との関わりが一過性にとどまり、地域産業や雇用に十分結び付いていないという課題が明らかとなっている。 本事業は、関係人口を地域産業・雇用と結び付け、「関わり」から「仕事」へと段階的につなぐ人材循環の仕組みを構築することで、人口減少社会に適応した持続可能な地域構造への転換を図ることを目的とする。 関係人口が地域企業の現場に継続的に関与する機会を創出することで、地元企業における人材確保力や新たな価値創出力の向上を図るとともに、将来的な就業、二拠点居住、移住等につながる関係性の定着を促進する。あわせて、地域内外の人材が循環・共創する仕組みを確立することで、地域産業の持続性向上と地域経済の活性化を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 関係人口と地元企業をつなぐ「たかはた人材循環・共創プロジェクト」を実施。地元企業の受入体制整備、インターンシップやスタディツアーの実施、関係人口と企業のマッチング体制構築、情報発信・プロモーションを一体的に進め、関係人口の創出から参画、定着へと段階的に展開する。 事業期間は令和8年度から令和10年度までの3か年とし、 ・初年度：基盤整備期（仕組みをつくる年） ・2年目：実装・拡充期（仕組みを回す年） ・3年目：定着・発展期（仕組みを育てる年） という段階構成により、事業終了後も地域主体で継続可能な人材循環モデルの確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・関係人口が参加できるインターン候補企業の発掘事業(3,410千円) ・大学生参加型・地元企業インターンシップ実証事業(2,860千円) ・地元企業PR×高校生スタディツアー事業(2,640千円) ・関係人口と地元企業のマッチング体制構築事業(3,740千円) ・関係人口向けポータルサイトの調査・要件定義事業(2,310千円) ・首都圏向けプロモーション・情報発信事業(16,800千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+8組） ②地元企業インターンシップ・スタディツアー等への延べ参加者数(+30人) ③首都圏教育機関・企業との協定・覚書・継続的連携関係の構築数(+8件) ④インターンシップなどの受入参画企業数(+7社)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：川西まちなかテラスを核とした、あつまる・かかわる・つながる“にぎわいづくり”プロジェクト

継続

申請者	山形県川西町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	84,883千円 (24,181千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・官民連携によるプラットフォームを構築し、地域資源とデジタル技術を最大限に活用しながら観光客や関係人口を拡大することにより、観光消費額の増加による地域経済の好循環が生まれ、川西まちなかテラスを核として「にぎわい」が生まれ続けるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 官民連携によるプラットフォーム「にぎわいづくり協議会」を創設し、川西まちなかテラスを「にぎわいづくり」の拠点とするための空間を整備することにより、持続可能な「にぎわいづくり」の基盤を構築する。 また、地域資源とデジタル技術を最大限に活用した高付加価値型観光コンテンツの開発や「かわにしファン」拡大に向けた取組みを推進するとともに、情報発信力の強化や魅力的な観光・交流コンテンツの提供に向けたデジタル化推進プログラムを展開する。					  集い、交流、にぎわいの場の創出に向けて整備を進めている川西まちなかテラス	
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 推進基盤となる「にぎわいづくり協議会」の運営（需用費） 167千円 ● 高付加価値型観光事業の展開 ・ 高付加価値型観光コンテンツの実証・推進（使用料、報償費、需用費、委託料、負担金、補助金） 10,914千円 ・ ICT等を活用した情報発信（役務費、委託料） 1,600千円 ● かわにしファンの拡大 ・ かわにしファン拡大に向けたイベントの開催（補助金） 2,200千円 ・ まちなかテラスOPイベント等開催（需用費、役務費、使用料） 1,300千円 ● デジタル化の推進 ・ デジタル化推進プログラム実証事業経費（需用費、役務費、使用料、委託料） 8,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+642百万円） ②観光客数（+71,292人） ③川西まちなかテラス利用者数（+18,480人） ④デジタル化推進プログラム参加者数（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kawanishi.yamagata.jp

事業概要：産官学金労言が連携した川西版地域経済エコシステムの構築による

継続

“しごとづくり”プロジェクト

申請者	山形県川西町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,646千円 (11,920千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本町の強みである一次製品の生産者育成と付加価値向上を図る。 ・町内の中小、小規模事業者の人材育成や新事業へのチャレンジ等を支援するとともに、創業支援や企業誘致を図る。 ・協業やイノベーションを誘発する環境（コワーキングスペース、シェアオフィス）の整備を行う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 町や商工会等で構成する協議会を設立し、一貫した実施体制を整え、次の事業を実施する。 ①一次製品の生産者育成支援②一次製品の付加価値向上 ③製造業者、商業者の人材育成・事業支援④新たな商工業者の育成、誘致 ⑤協業やイノベーションを誘発する環境整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①一次製品の生産者育成支援 女性農業者支援（補助金）750千円 ②一次製品の付加価値向上 オリジナルグリア生産振興（委託料、需用費）370千円 米沢牛消費宣伝（負担金）400千円 ③製造業者、商業者の人材育成・事業支援 支援体制強化（補助金）6,000千円 人材育成（補助金）300千円 イノベーション支援（補助金）2,000千円 ④創業支援と企業誘致 創業支援（補助金）1,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+40人） ②認定新規就農者数（+9人） ③創業または新分野進出社数（+12社） ④インキュベーション施設利用者数（+4,500人） ⑤新商品・サービス数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kawanishi.yamagata.jp

事業概要：地域経済を担う若者、女性をはじめ多様な人材の活躍基盤形成事業

新規

申請者	山形県川西町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,567千円 (93,242千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	郷土への愛着を育み、主体性のある人材を育成するとともに、地域や職場での寛容性向上や暮らしやすい住環境づくりを一体的に進める。これにより、地域経済を支える若者や女性の定住・移住を促進し、持続的な雇用の創出と、多様な人材が活躍する強い地域経済の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ①町への定住やUターンを促進するため、地域資源（食・文化・スポーツ等）の継承と活用を通じて、地域への理解と愛着を深める。これにより、地域で働き、消費し、担い手となる人材を安定的に確保し、地域経済を支える基盤の強化を図る。 ②主体性や地域への責任感を育む機会を創出し、挑戦や学びを後押しすることで、地域課題の解決や新たな価値創出を担う人材を育成する。こうした人材の活躍を通じて、産業の活性化や雇用創出につなげ、地域経済の発展に貢献する。 ③意識改革と多様な主体による地域づくりを進めるとともに、住環境や受入体制、活動拠点の整備を一体的に推進する。多様な人材が安心して暮らし、働き、挑戦できる環境を整えることで、地域経済の活性化と持続的な成長を支える。					この町で働きたい！ 活躍したい！ 誰もが地域経済を担う人材として活躍できるまち！ 活躍環境整備 シビックプライドUP 寛容性UP この町に住みたい！ 住み続けたい！ 地域資源（食・文化・スポーツ等） 食文化（米、米沢牛、伝統料理）、井上ひさし、ホッケー競技 県立置賜農業高校、地区経営母体を核とした地域づくり など	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・人材確保基盤形成事業 井上ひさしの業績を軸とした芸術文化イベントの開催（委託料）12,110千円 ・人材育成事業 川西町100チャレンジ補助金の創設（使用料、委託料）2,650千円 中高生の主体的な学びや地域づくりへの支援（需用費、補助金）714千円 ・活躍環境整備事業 地域住民や事業者へのアンコンシャスバイアスセミナー（報償費、需用費）208千円 地区経営母体を核とした多様な主体の参画による地域づくり（補助金）12,392千円 活動拠点となる各地区交流センター、フレンドリープラザの設備等リニューアル（工事請負費、委託料）53,470千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者の転出超過率（▲0.96%） ②100チャレンジ補助金活用事業数（+75件） ③恩送りポイント参加者数（+600人） ④人材育成やアンコンシャスバイアス解消等に向けたイベントの参加者数（+60人） ⑤若者、女性の活躍に向けた国・県認定制度の導入企業数（+9件） ⑥空き家バンク成約件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業

継続

申請者	山形県小国町ほか61自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,637,445千円 (1,781,860千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人財を育成する さまざまな地域との交流を通じて、生徒達が「複眼的かつ客観的な視点で、地域課題を分析・解決できる力」を養うと中で、地域に愛着をもった関係人口となり、将来にわたって各地域の持続可能性向上に貢献する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】全国の市町村とともに「小規模市町村ネットワーク」を形成し、 以下（R8年度事業経費内訳欄）の3つのテーマに沿った取組を行っていく。					市町村ネットワーク 62市町村による共助・共創 単独では対応困難な事業を協働で推進 デジタル活用による人材育成 新たな人の流れづくり 見える化、資源獲得 持続可能なかたちでの課題解決型人材の育成 ・地域に愛着を持つ関係人口の増加 ・各地域の持続可能性向上	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①デジタル活用による、地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成 ・オンライン課外活動等の実施（委託費等） 31,320千円 ・人材育成サポートスタッフの配置・育成（人件費等） 111,323千円 ②新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出 ・海外も含む多様な生徒募集の実施（実施経費等） 144,299千円 ・多様な留学生の受け入れ体制整備（委託費等） 597,771千円 ・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修（改修費等） 351,577千円 ※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象 ③自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得 ・社会資源獲得プロジェクトに係る費用（委託費等） 80,331千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外部から地域に越境し居住する中高生の数（+335人） ②越境プログラムに参加した中高生の数（+588人） ③オンラインプログラムに参加した中高生の数（+627人） ④課題解決型人材の育成に係る指標（+12.0ポイント）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効果検証の結果及び 改善方策への反映が 記載されているURL	https://ekkyonet-mirai.jp/

※山形県小国町、北海道夕張市、北海道上ノ国町、北海道奥尻町、北海道ニセコ町、北海道音威子府村、北海道幌加内町、北海道苫前町、北海道湧別町、北海道大空町、北海道むかわ町、北海道上士幌町、北海道鹿追町、北海道標津町、岩手県花巻市、岩手県西和賀町、岩手県大槌町、岩手県岩泉町、山形県金山町、山形県遊佐町、福島県只見町、福島県金山町、新潟県胎内市、新潟県阿賀町、石川県能登町、福井県坂井市、長野県白馬山麓事務組合、静岡県伊豆市、静岡県川根本町、京都府京丹波町、奈良県五條市、島根県出雲町、島根県川本町、島根県海士町、岡山県真庭市、岡山県和気町、広島県北広島町、広島県大崎上島町、愛媛県砥部町、高知県土佐町、高知県本山町、鹿児島県錦江町、鹿児島県南大隅町、沖縄県久米島町、北海道平取町、北海道弟子屈町、宮崎県えびの市、北海道松前町、北海道福島町、北海道栗山町、北海道上川町、北海道大樹町、北海道羅臼町、岩手県岩手町、秋田県鹿角市、山形県長井市、福島県南会津町、岡山県高梁市、高知県土佐清水市、熊本県あさぎり町、鹿児島県出水市、鹿児島県伊佐市の広域連携事業

事業概要：デジタルとリアルでつなぐウェルビーイングなファンコミュニティの構築事業

継続

申請者	山形県小国町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,200千円 (25,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・これまで獲得してきた協働人口と町との関係性を維持し密にするウェルビーイングなファンコミュニティを構築し、デジタルからリアルな観光に繋げることを目指す。 ・デジタル技術を活用した新たな手法での関係人口の獲得を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 観光地域マーケティングを実施し、明確なターゲットや課題に基づいた観光施策を検討し、各種データやデジタルコンテンツを活用できる人材を育成する。また、実際に訪れなくとも体感できるデジタルコンテンツを整備し、バーチャル体験を充実させることでリアルな訪問につなげる。さらに、デジタルファンコミュニティ空間を構築し、地域住民とファンとの交流を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光地域マーケティングとデジタル人材育成事業（委託料）3,300千円 ・デジタル観光コンテンツ整備事業（委託料）6,600千円 ・デジタルからリアルへつなぐフードツーリズム事業（委託料）6,600千円 ・デジタルファンコミュニティの構築事業（委託料）8,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1,700万円） ②本事業におけるイベント参加者数（+130人） ③デジタル観光コンテンツ数（+3件） ④デジタルファンクラブ会員証発行数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oguni.yamagata.jp/soshiki/soumu/1210.html

事業概要：大学や企業と協働した地域価値創造プロジェクト

新規

申請者	山形県小国町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,095千円 (11,365千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町外の多様な主体をターゲットに小国町へ来町する機会を創出し、来町者の知見をもとにビジネスによる地域価値創造をはじめとした、魅力的なまちづくりに活かす。「来町機会の拡大→地域資源の高付加価値化→事業・雇用の創出→人材還流・外貨獲得」という好循環を生み、地場産業の拡大・発展を通じて強い経済の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・早稲田大学・新潟大学をはじめとした町外の大学と連携し、町外の若者の視点を取り入れた地域資源を活用した地域価値創造ビジネスの創出を行う。 ・企業を対象に地域資源について多様な視点で捉え直す課題解決型研修を行う。 ・都市の社会人を対象に地域資源体験型ワークショッププログラムを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・大学と協働した地域価値創造ビジネス創出事業：大学生の地域資源視察フィールドワークの実施（委託料）6,094千円 ・企業への課題解決型研修実施による地域価値創造のアイデア獲得事業：地域資源や地域課題の調査、研修プログラムの開発、需要調査、プロモーション（委託料）2,915千円 ・都市の社会人を対象にしたワークショッププログラム実施事業（委託料）2,356千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン者数（+6人） ②地域における観光消費額（道の駅および町指定管理施設の売り上げ）（+15,000千円） ③企業研修実施回数（+2回） ④ワークショッププログラム実施回数（+2回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.oguni.yamagata.jp/soshiki/soumu/1210.html

事業概要：日本の紅（あか）をつくる町連携推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,165千円 (6,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、「日本の紅（あか）をつくる町」として受け継がれてきた紅花文化を次世代へ継承し、地域資源を活かした持続可能な地域づくりを推進するものである。紅花生産者や加工人材の確保・育成を進めることで、生産基盤の維持と地域文化の継承を図る。また、紅花を核とした町民参加型の取組や情報発信を強化し、地域への誇りや愛着の醸成につなげる。さらに、紅花を通じた交流人口の拡大により、地域全体の活力向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 紅花生産者への支援や、有識者による栽培・加工技術講習会を実施し、後継者の確保と技術継承を図る。加えて、連作障害対策に向けた調査・研究を行い、安定的な紅花生産体制を構築する。また、「SHIRATAKARED」等の紅花関連商品の開発・販売促進を進めるとともに、イベントやPR活動を通じてブランド力向上を図る。これらの取組を一体的に展開することで、紅花を軸とした産業・観光振興を推進する。					実施体制等 白鷹町 ↓ 委託料 ↓ 日本の紅をつくる町連携推進本部 商工会・観光協会等から構成する推進主体 ↓ 補助金 ↓ 紅花生産者等	
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 紅花の生産、一次加工に係る後継者の確保及び育成 ・ 紅花栽培の技術に関する課題検討・調査・研究及び対策費（委託料） 500千円 ・ 紅花栽培及び一次加工品生産に係る支援（委託料、補助金） 5,000千円 ● 紅花関連商品の開発促進 ・ 商品開発支援に係る費用 300千円 ● 日本の紅（あか）をつくる町、SHIRATAKAREDブランディング強化 500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①紅花一次加工品の生産量（+8.3kg） ②紅花関連商品の売上金額（+250,000円） ③紅花関連イベント参加者数（+400人） ④修景用紅花栽培面積（+15a）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：～新たな人の流れで町を活性化～ 多様な人材還流促進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,500千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、都市部や町出身者、外国人材等を含む地域外人材とのつながりを強化し、関係人口の拡大と地域の担い手確保を図るものである。情報発信や交流機会を充実させることで、白鷹町に継続的に関わる人材を増やし、地域課題解決や地域活動への参画につなげる。また、移住相談体制や移住体験を強化し、UIターンや移住希望者が具体的な暮らしをイメージできる環境を整える。さらに、外国人材が地域で安心して暮らし、地域コミュニティに関われる受入体制を構築し、人口減少下でも持続可能な地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、町出身者や関係人口候補者に向けた情報発信体制を再構築し、関係人口のデータベース化や登録Webツールの構築を行う。また、東京・仙台等の都市部で若者、大学生、町出身者との交流イベントを開催し、町との継続的な関係づくりを進める。さらに、移住情報を一元管理するWebサイトやPR素材を整備し、お試し移住体験ツアーや仕事体験の機会を提供する。加えて、外国人材の受入に向けた調査、生活支援体制の構築、地域活動へ参加できる仕組みづくりを実施する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信基盤整備と都市部等の関係人口が町に関わり続ける仕組み構築（委託料）5,000千円 ・移住支援のワンストップ窓口（一元管理）化と移住体験の充実（委託料）3,000千円 ・外国人の受入体制整備（委託料）2,000千円 1年目の現状分析・データ分析等の整理によって2年目で構築された仕組みを実際に実走し、持続する体制を構築する。					➤ 人口減少による人材不足・地域づくりの担い手不足に対応するため、移住・定住につながる関係人口構築を推進 ➤ 今後、地域産業の担い手として期待される外国人材の受入体制整備	
主なKPI	①地域へのUIターン数（+15人） ②本事業で実施する関係人口登録者数（+60人） ③本事業で実施する移住体験者数（+8人） ④町内に住民票を有する外国人数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：子育て支援・健康応援推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,500千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、全世代の健康づくりと子育て支援を一体的に進め、生涯にわたり地域で活躍できる環境を整えるものである。健康データやSNS等のデジタル技術を活用し、生活習慣改善、フレイル予防、外出・社会参加の促進につなげる。また、子育て支援アプリの機能拡張やオンライン相談により、子育て世代の不安や孤立感の軽減を図る。これにより、町民のウェルビーイング向上と地域コミュニティの活性化を促し、人口減少の抑制に資するまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、人口減少や担い手不足に対応するため、デジタル技術を活用した「生涯活躍のまち」の実現を目指すものである。子育て支援アプリの機能拡張やオンライン相談体制を構築し、子育て世代の利便性向上と孤立感の軽減を図る。また、健康データを活用した健康づくり支援システムを導入し、健康教室や生活習慣改善、フレイル予防を推進する。加えて、ボランティア活動や町イベントと連動したインセンティブ付与により、交流・社会参加を促進する。さらに、全天候型多目的運動ホール等を整備し、全世代が健康で生きがいを持って暮らせる地域づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自身の健康データ利活用デジタルツール構築 2,000千円（委託料） ・町立病院と連携した人間ドック受診から生活習慣改善トータルサポートプログラム構築 2,000千円（委託料） ・SNSでの精密検査受診勧奨、生活習慣改善指導フォローアップの仕組み構築 2,000千円（委託料） ・自助意識の醸成・活躍するボランティア・高齢者等の支援の仕組み構築 2,000千円（委託料） ・健康データを活用したPDCAサイクル確立 2,000千円（委託料）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数（▲1,252人） ②この町でこどもを産み育てていきたいと思う人の割合（+12%） ③要介護認定率（▲0.5%） ④運動習慣者の増加率（+5.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム推進事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,000千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、町内に点在する観光資源を「ウェルネスツーリズム」を軸に連携させ、通過型観光から滞在型観光への転換を図るものである。伝統文化、自然、温泉、食、アクティビティ等を組み合わせた体験型観光を創出し、交流人口・関係人口の拡大につなげる。また、観光資源の磨き上げや宿泊施設との連携を進め、地域全体で観光を推進する体制を構築する。これにより、観光消費額の拡大と、持続可能な観光地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、町内の宿泊施設、体験施設、スポーツ施設、伝統工芸等の観光資源を調査・分析し、ウェルネスツーリズム構想を策定する。また、関係事業者等との合意形成を進め、体験型観光プログラムの構築や推進組織の設立を行う。さらに、モニターツアーやプロモーションを実施し、観光プログラムの試行・事業化を進める。あわせて、予約・移動・宿泊・購買データ等を活用できるデジタルプラットフォームを開発・導入し、周遊促進やリピーター確保に活用する。					●町内の市場調査、分析 ●資源の洗い出し・磨き上げ ●ウェルネスツーリズム構想の策定 ↓ ●推進組織の立上げ ●ステークホルダーとの合意形成 ●プラットフォーム開発 ●体験型プログラムの造成 ↓ ●滞在型観光の確立！ ●観光事業の持続性（稼ぐ力）UP！ ●観光事業の組織力UP！！	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①推進組織の設立 1,000千円（委託料） ②ステークホルダーとの合意形成 2,000千円（委託料） ③プラットフォームの開発・導入準備 15,000千円（委託料） ④体験型観光プログラムの試行 2,000千円（委託料） 1年目の調査や分析結果を基に地域資源をウェルネスツーリズムに資するコンテンツへの磨き上げを行う。構想の推進組織を設立しながらステークホルダーとの合意形成を行い、プラットフォームの開発及び地域における滞在型観光のプログラムの造成へ着手する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+151.5百万円） ②観光客数（+230千人） ③本事業で実施するプラットフォームの登録者数（+1,100人） ④本事業で実施する観光コンテンツ数（+27件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/2277.htm

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	315,716千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、若者・女性・子育て世代に選ばれる暮らしと働く環境を整え、転入促進と転出抑制を図るものである。子育て施策や暮らしやすさをブランディングし、町の強みを効果的に発信することで、移住・定住の促進につなげる。また、町内企業の働きやすい職場づくりを支援し、人材確保と若者の地域定着を後押しする。さらに、住宅整備により住まいの不足を補い、職住育が近接した生活環境を形成することで、持続可能な人口確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、転入者等への調査・分析を通じて、白鷹町の子育て環境や暮らしやすさの強みを整理し、PR媒体を作成・発信する。また、企業向け調査やセミナー、モデル企業へのコンサル支援を行い、女性等に選ばれる職場づくりを促進する。さらに、企業の取組を横展開するための助成制度や情報発信体制を構築し、町内企業の人材確保を支援する。あわせて、子育て支援住宅、若者定住促進住宅、若者移住促進住宅を新築整備し、若者・子育て世代の住まいを確保する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・女性等に対する町の子育て施策のブランディング 子育て世代、女性目線での暮らしやすさのブランディング構築 6,000千円（委託料） ・女性等に選ばれる職場の実現 企業イメージアップに向けたモデルの形成 14,000千円（委託料） 1年目に整理した素材を組み合わせることにより、本町の子育て世帯向けのブランディングを構築する。イメージアップに前向きに取り組む企業を伴走支援し、子育て世代や若者の働きやすい企業のモデルをつくる。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の人口数（社会減数の抑制）（+4人） ②0～4歳の転入者数（+10人） ③20～24歳の転出者減少数（+11人） ④本事業によりイメージアップに取り組む企業数（+5社） ⑤本事業で整備する移住促進住宅への入居者数（+8人） ⑥本事業で整備する住宅入居者の満足度（+80%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：『食と農村交流広場』と連携した女性・若者が創り出す農作物等高付加価値化事業

継続

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	843,827千円 (0千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	6次産業化加工施設を整備することにより、6次産業化への展開やその過程での各産業間の連携や交流を図り、農業従事者の農業所得の向上や新たな特産品開発、通年での仕事の創出を目指す。 - 新たな付加価値創出へ挑戦する機会をつくることで、本町の資源を活用した6次加工品を開発し、域内の経済循環はもとより、将来的には国外を視野に入れた域外への市場開拓に向けた取組を目指す。 - 取り組む女性や若者が地域を盛り上げ、定住や交流人口の増大など楽しい地方の姿の具現化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 町の主要観光スポットとなっている直売所、『食と農村交流広場』の隣接地に、加工・販売・交流の機能を有する複合的な加工施設を整備し、直売所の一次産品を活用した加工品を制作することで、高付加価値化を図る。 加えて、本町で実施している観光客数調査によれば『食と農村交流広場』は、町内の観光施設では1番の来客者数を誇る。その隣接地に、加工・販売・交流の施設を整備することで、『食と農村交流広場』と連携した商品開発、販売により、稼ぐ力を創出し農業者の所得向上を図る。また、本施設で域内外の人との交流を促し賑わいを創出し、新たな人の流れの形成にも寄与するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業（事業はR9年度から開始） ・6次産品のマーケティング調査 ・6次産業商品開発セミナー ・6次産業化チャレンジ支援事業補助金創出 ・アドバイザー（仮）ブランディングコーディネーター設置 ・ECサイト構築 ○拠点整備事業（事業はR9年度から開始） ・白鷹町6次産業化推進拠点施設の整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業従事者の所得向上（+40万円）②新規農業従事者数（+7人） ③施設使用率（+45%）④新商品の開発数（+2件） ⑤新たな販路の開拓数（+2件）⑥本施設での雇用者数（+2人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要：「飯豊町白川まるごと構想」に基づく持続可能な滞在型観光地域づくり事業

新規

申請者	山形県飯豊町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,329,483千円 (143,028千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	雪解け水の循環を描く「まるごと構想」に基づき、滞在拠点整備によるコト消費化推進や優良顧客の誘致により、低消費額の通過型観光から高付加価値高消費の滞在型観光化を目指すことで、地域経済の活性化につなげる。また、通年で滞在を楽しめるエリアとすることでオーバーツーリズムを未然防止し、観光が農業等町内産業への波及を牽引する持続可能な観光地域づくりに繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 人気観光地「水没林」に隣接する町有ホテルを、雪室熟成を活用した「雪解けガストロミー」を提供するオーベルジュへ再生し、首都圏の食通やインバウンド富裕層を誘致する。運営は地域商社機能を担う新会社が行い、滞在客を中心に顧客のストック化を目指し継続的な特産品販売にもつなげていく。また、水没林の混雑対策や自動運転実証による二次交通対策を推進することで、農業等への経済波及とオーバーツーリズムの未然防止を両立させる。					白川流域まるごと構想 雪解け水の循環のストーリー  飯豊山の雪解け水 町有ホテル整備 白川湖の水没林 田園散居集落 (稲作と米沢牛の循環)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・町有ホテルフォレストいいでを含む水没林近隣エリアオーバーツーリズム未然防止交通渋滞対策、需要分散対策（委託料）23,837千円 ・関係人口強化・情報発信によるオールシーズン観光地化アンテナショップ近隣に絞ったリピーター化（委託料）6,687千円 米・米沢牛・水没林などキラコンテンツとそのストーリーを活用した情報発信と物産振興（委託料）3,745千円 ○拠点整備事業 ・町有ホテル高付加価値化改修による滞在拠点整備 76,864千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 1人あたりの観光消費単価（+3,637円） ② 白川湖の水没林エリアにおける観光入込者数（+65,152人） ③ 本拠点整備事業による年間宿泊売上高（+448,366千円） ④ 町民観光満足度（+0.363%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.iide.yamagata.jp/012/marugotokoufukin.html



事業概要：庄内町「つなぐ・育てる・稼ぐ！」農業未来投資プラン

新規

申請者	山形県庄内町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,125千円 (7,825千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	本事業は、スマート農業の導入や土壌改良、情報発信強化、米コンテストによるブランド発信を通じ、生産性向上と高付加価値化を図る取組である。これにより収量増加や品質向上、販路拡大を実現し、農業算出額と所得の向上、経営安定化に寄与するもので、地域農業の持続的発展を支えるものである。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ●ブランド力向上による販路拡大と高付加価値化、交流人口・ファン層増加 ・「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」を拡充し、「ごはんのおともコンテスト」や「地域の食ブース設置」を実施。HP等の活用による情報発信の強化。 ●新規就農者獲得のためのターゲット発信 ・移住・就農支援策、先輩就農者の紹介、研修案内等を農業サイトで配信 ●生産性・所得向上対策 ・気候変動に強い高品質な米づくりを目指し、土壌改良等の取組へ支援。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト実行委員会負担金 900千円 ・新規就農者獲得のための情報発信広告料 550千円 ・土づくりや安定生産を支援する補助金 6,375千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 農業算出額（+0.4億円） ② 新規就農者数（+50人） ③ HP等記事アクセス数（+7,200件）					URL ※交付金の 具体的使 途・実施体 制・効果検 証の結果及 び改善方策 への反映が 記載されてい るURL	https://www.town.shonai.lg.jp/gyousei/shisaku/kikaku220260602105100025.html

事業概要：遊佐パーキングエリアタウン（新道の駅）整備事業

継続

申請者	山形県遊佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,971,987千円 (1,899,987千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	設計段階で先行選考した指定管理候補者とともに新たな道の駅を使い倒すことで、①観光振興による交流人口の更なる拡大により、地域内消費機会の創出による経済好循環を生み出すこと、②世界ジオパーク拠点施設・環鳥海エリアのゲートウェイとして、県を跨いだ広域的な人の流れを創出すること、③少子高齢化により危機的状況にある本町地場産業の持続と発展に繋げることを目的としている。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 日本海沿岸自動車道・遊佐鳥海IC出口に直結する敷地に、本町・環鳥海エリアの周遊の拠点となる新たな道の駅を移転整備する。現道の駅は年間約5億円の売上高があるが、新たな道の駅では、現状以上の約9.5億円以上の売上を目指し、魅力的な店舗（物販・飲食）となるよう事業計画を立て、世界ジオパークに相応しい様々な地場産品商品開発に積極的に取り組む。多目的広場、駐車場も整備し、市場環境の変化への対応、老朽化・手狭・非バリアフリー化な現状を改善する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・道の駅本体建築工事 事業費1,683,013千円（うち交付対象事業費1,124,052千円） ・広場外構・駐車場整備 事業費429,097千円（うち交付対象事業費317,539千円） ・設備整備 事業費432,267千円（うち交付対象事業費408,108千円） ・備品整備 事業費50,288千円（うち交付対象事業費50,288千円）					  新道の駅イメージ図	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,035,861千円） ②観光周遊を促すようなプログラムやツアーの参加者数（+457人） ③近隣市町村住民来訪者数（+16,105人） ④入込客数（+3,570,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yuza.yamagata.jp/archive/p20260602084837